

# 市内遺跡発掘調査概報 26

- 平成 29 年度調査の概要 -



下原遺跡 木棺墓

2018

大分県宇佐市教育委員会

# 例 言

- 1 本書は、宇佐市教育委員会が国庫・県費の補助を得て実施した平成 29 年度市内遺跡発掘調査事業に関する調査概要報告書である。
- 2 調査を実施した遺跡は第 2・3 表に示した遺跡である。
- 3 遺構記号については、『発掘調査のてびき』（文化庁文化財部記念物課 2010）に従った。  
なお、図版等ではトレンチを TR と表記する。
- 4 本書に示した緯度・経度の数値は発掘調査の際に設置した世界測地系による杭によるものと、国土地理院の地図閲覧サービス（ウォッチず）の数値を参照したものがある。
- 5 本書の執筆は弘中正芳と甲斐安寿生が行い、編集は甲斐が行った。



国土地理院発行 1/500,000 地方図「九州」をもとに作成

第 1 図 宇佐市位置図 (S=1/1,000,000)

## 1 はじめに

周知の埋蔵文化財包蔵地内において、土木工事等の開発工事を行う場合は、文化財保護法第93条や第94条に基づき、届出・通知が必要となる。社会教育課文化財係は、開発行為の内容を確認し、既往調査の成果をもとに事前審査を行い、慎重工事・工事立会・発掘調査の所見を大分県教育庁文化課（以下、県文化課）あてに進達し、対応については県文化課の方針に従っている。

なお、埋蔵文化財の存在状況の確認調査が必要な場合には、本事業内で事前に試掘・確認調査を行って遺跡の有無を確認し、事後の行程を円滑に進めている。

### 調査団の構成

調査主体者 宇佐市教育委員会

調査責任者 宇佐市教育委員会教育長 近藤一誠（平成29年9月7日まで）  
竹内新（平成29年9月8日から）

調査指導委員 真野和夫（元大分県立歴史博物館副館長）  
武末純一（福岡大学人文学部教授）  
玉田芳英（奈良文化財研究所都城発掘調査部部长）  
田中裕介（別府大学文学部教授）

宇佐市教育委員会 教育次長 高月晴彦（平成29年4月30日まで）  
若山雅敏（平成29年5月1日から）

社会教育課長 佐藤良二郎

主幹（文化財係総括） 江藤和幸

主幹 山中千織

主任 弘中正芳

主事 竹村雄太

技師 甲斐安寿生

臨時職員 永松明子

### 調査方針

調査の方法は、グリッドまたはトレンチを主とした遺構確認作業が中心である。トレンチ等で調査区を設定後、バックホーで表土や旧耕作土を除去し、遺構の検出や掘り下げについては人力で行った。また、必要に応じてトレンチを拡張した。

平成16年10月26日付けで文化庁が刊行した「行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての基準（報告）」を遵守しつつ、調査指導委員会より指導を受けて調査方針を決定し、確認した遺構・遺物の取り上げは最小限度に止めている。

第1表 発掘届等提出遺跡一覧

番号	所収遺跡名	所在地	工事の目的	取り扱い
1	樋田遺跡	宇佐市閣字前田4番8	個人住宅	注意
2	樋田遺跡	宇佐市閣字田原2番6、字前田7番10	個人住宅	注意
3	樋田遺跡	宇佐市樋田字裏41番1、閣字前田7番5	個人住宅	注意
4	樋田遺跡	宇佐市閣字長田171番3ほか	個人住宅	注意
5	樋田遺跡	宇佐市樋田字浦40番2	個人住宅	注意
6	樋田遺跡	宇佐市閣字前田7番9、字田原2番5	個人住宅	注意
7	樋田遺跡	宇佐市閣字前田4番4、字長田150番5	個人住宅	注意
8	樋田遺跡	宇佐市樋田字浦40番1、閣字前田7番2	個人住宅	注意
9	樋田遺跡	宇佐市閣字長田150番3、字前田4番2	個人住宅	注意
10	樋田遺跡	宇佐市閣字前田4番7	個人住宅	注意
11	樋田遺跡	宇佐市閣字長田150番2、字前田4番1	個人住宅	注意
12	樋田遺跡	宇佐市閣字前田7番7	個人住宅	慎重工事
13	樋田遺跡	宇佐市樋田字浦41番14、閣字7番27	個人住宅	慎重工事
14	樋田遺跡	宇佐市樋田字福寿庵115-8	個人住宅	慎重工事
15	宇佐地区条里跡	宇佐市川部字山ノ内1057番1	個人住宅	慎重工事
16	糸口山遺跡	宇佐市上時枝字西光寺山1223番地10号	その他建物 (老人ホーム)	慎重工事
17	柳沢遺跡	宇佐市下元重字北間安53番2	その他建物(事務所)	工事立会
18	中屋敷遺跡	宇佐市上田550-3、先	水道	慎重工事
19	安心院地区条里跡	宇佐市安心院町折敷田字敷ノ内97番1	個人住宅	慎重工事
20	虚空蔵寺跡	宇佐市山本字百枝1652番地	個人住宅	発掘調査
21	樋田遺跡	宇佐市中原71番1、72番5	宅地造成	慎重工事
22	米丸遺跡	宇佐市辛島	水道	工事立会
23	樋田遺跡	宇佐市閣字田原2番7、大字閣字	個人住宅	慎重工事
24	立出遺跡	宇佐市西大堀61-1ほか	公園	発掘調査
25	高家城跡	宇佐市東高家139番地1	その他建物 (老人ホーム)	工事立会
26	別府遺跡	宇佐市樋田115番6	個人住宅	慎重工事
27	中原遺跡	宇佐市中原字横道384番地1、385番地2	倉庫	慎重工事
28	宇佐町遺跡	宇佐市北宇佐	道路	工事立会
29	屋敷遺跡	宇佐市住江弁財261番、262番	その他建物(倉庫)	慎重工事
30	中川遺跡	宇佐市法鏡寺字前田264番ほか	その他開発(駐車場)	慎重工事
31	宇佐地区条里跡	宇佐市大字江須賀字正門4069-12	個人住宅	慎重工事
32	御幡遺跡	宇佐市法鏡寺843番	個人住宅	工事立会
33	時枝遺跡	宇佐市上時枝字東ノ土居256番、258番4	個人住宅	工事立会
34	宇佐町遺跡	宇佐市南宇佐字本町2346-2、2347	個人住宅	工事立会
35	宇佐地区条里跡	宇佐市住江字松林425-1	個人住宅	工事立会
36	法鏡寺遺跡	宇佐市法鏡寺字屋敷145番1、145番3	個人住宅	慎重工事
37	宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀字正門4038-4	工場	工事立会
38	安心院地区条里跡	宇佐市安心院町字芝原681番、679番	電気設備	工事立会
39	中原遺跡	宇佐市中原字上野内614-2	個人住宅	慎重工事
40	下原遺跡	宇佐市法鏡寺下原833番1、833番2	集合住宅	発掘調査
41	宇佐地区条里跡	宇佐市川部山ノ内1046番1、1048番	集合住宅	慎重工事
42	宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀字小宇佐4010番1	個人住宅	工事立会
43	城井遺跡	宇佐市城井字一本松711番、714番、715番1	宅地造成	発掘調査
44	立出遺跡	宇佐市西大堀108-2、109-3、110-3	道路	慎重工事

45	樋田遺跡	宇佐市中原字古府園 70 番 11	個人住宅	慎重工事
46	樋田遺跡	宇佐市中原字古国府 72-6	個人住宅	慎重工事
47	下乙女遺跡	宇佐市下乙女 1372 番地	個人住宅	慎重工事
48	樋田遺跡	宇佐市中原字古府園 70 番 5	個人住宅	慎重工事
49	畑田城跡	宇佐市畑田 1324-8	個人住宅	慎重工事
50	別府遺跡	宇佐市中原字上ノ園 255-9、255-10	個人住宅	慎重工事
51	宇佐地区条里跡	宇佐市川部 904 番地ほか	圃場整備	発掘調査
52	城井遺跡	宇佐市城井字津房 665 番 8	個人住宅	慎重工事
53	吉松遺跡	宇佐市城井扇塚 1980 番 3	個人住宅	慎重工事
54	今市遺跡	宇佐市四日市阿弥田 2501-3	個人住宅	慎重工事
55	法鏡寺廃寺跡	宇佐市法鏡寺 17-5 ほか	公園	発掘調査
56	野田遺跡	宇佐市金屋 1991-1、1991-9	工場	発掘調査
57	井出神遺跡	宇佐市畑田字下川田 1089-14	個人住宅	慎重工事
58	上居屋敷遺跡	宇佐市別府 254-5、257-7、257-8	店舗	慎重工事
59	宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀字小宇佐 4008-5	個人住宅	工事立会
60	藤田遺跡	宇佐市南宇佐 2567 の一部	その他開発 (古紙保管庫)	慎重工事
61	樋田遺跡	宇佐市中原字古府園 70 - 12	個人住宅	慎重工事
62	樋田遺跡	宇佐市中原字鎌瀬町 47 番 10	個人住宅	慎重工事
63	柳ヶ迫遺跡	宇佐市山下字東桐ヶ迫 2156 番 8、2156 番 9	個人住宅	工事立会
64	笛吹窯跡	宇佐市北宇佐 2344 地先	電気設備	慎重工事
65	井手神遺跡	宇佐市畑田字下川田 1089 番 15	個人住宅	慎重工事
66	中原遺跡	宇佐市中原字買込 416 - 3	個人住宅	発掘調査
67	畑田遺跡	宇佐市畑田字今在家屋敷 1145、1142 - 1	個人住宅	慎重工事
68	中洲城跡	宇佐市沖須町二丁目 13 番 1	個人住宅	慎重工事
69	城遺跡（宮熊城跡）	宇佐市宮熊田浦 1314 番 1	その他建物 (倉庫)	慎重工事
70	川部高森古墳群	宇佐市高森	その他建物 (連絡通路)	工事立会
71	井手神遺跡	宇佐市畑田 856 - 1	個人住宅	慎重工事
72	川部高森古墳群	宇佐市川部 1703 番地	その他開発 (遊具設置)	工事立会
73	宇佐町遺跡	宇佐市南宇佐 2507 - 1 他	道路	慎重工事
74	畑田城跡	宇佐市畑田字下屋敷 1235 番	個人住宅	慎重工事
75	樋田遺跡	宇佐市中原字古府園 71 - 3、72 - 5	個人住宅	慎重工事
76	宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀字小宇佐 4008 番 7、4008 番 1	個人住宅	工事立会
77	中原遺跡	宇佐市中原字上ノ園 255 - 9、255 - 11、 256 - 9	個人住宅	慎重工事
78	宇佐町遺跡	宇佐市南宇佐 2469 番、2510 番、2509 番、 2508 番 5、2508 番 1 の一部	個人住宅	工事立会
79	樋田遺跡	宇佐市中原 47 - 7	個人住宅	慎重工事
80	樋田遺跡	宇佐市中原 47 - 5、50 - 7、50 - 1	個人住宅	慎重工事
81	大根川遺跡	宇佐市大根川 330 - 2	個人住宅	工事立会
82	樋田遺跡	宇佐市閣字前田 7 番 3	個人住宅	慎重工事
83	蛇畑遺跡	宇佐市橋津	その他開発 (学校プール改修)	発掘調査
84	蜷木遺跡	宇佐市蜷木 1845 - 1	個人住宅	工事立会
85	広崎氏切寄跡	宇佐市中原字高野 449 - 6、449 - 7、456	その他建物 (倉庫)	慎重工事
86	富山遺跡	宇佐市富山伊勢堂 409 - 1、410 - 1、411 - 1、 412	その他開発 (太陽光発電)	慎重工事

87	上川原遺跡	宇佐市上田 1242 - 3	店舗	慎重工事
88	樋田遺跡	宇佐市樋田 72 - 2	個人住宅	注意
89	畑田城跡	宇佐市畑田字表屋敷 1340 番 2	個人住宅	慎重工事
90	井手神遺跡	宇佐市畑田字井手神 852 - 2、852 - 8	個人住宅	慎重工事
91	樋田遺跡	宇佐市閣 8 - 2、2 - 2	個人住宅	慎重工事
92	樋田遺跡	宇佐市中原字鎌瀬町 47 番 12、50 番 10、50 番 12	個人住宅	慎重工事
93	樋田遺跡	宇佐市閣字前田 10 番 4	個人住宅	慎重工事
94	宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀北門 4096 - 3	個人住宅	工事立会
95	樋田遺跡	宇佐市中原 71 - 1	個人住宅	慎重工事
96	戎原遺跡	宇佐市北宇佐 2164 - 2 番、2165 - 1 番	電気設備	発掘調査
97	畑田城跡	宇佐市畑田字表屋敷 1340 - 1	個人住宅	慎重工事
98	尾畑遺跡	宇佐市山下字横旨 1318 番 1	個人住宅	工事立会
99	樋田遺跡	宇佐市閣字道場畑 240 番 3	個人住宅	慎重工事
100	時枝遺跡	宇佐市下時枝字来覚寺 506 番 1	個人住宅	工事立会
101	安心院地区条里跡	宇佐市安心院町下毛 2186 番地の 1	店舗	慎重工事
102	井手神遺跡	宇佐市畑田 1089 番 13	個人住宅	慎重工事
103	宇佐町遺跡	宇佐市北宇佐	道路	慎重工事
104	広崎氏切寄跡	宇佐市中原 454-12、454-14	個人住宅	慎重工事

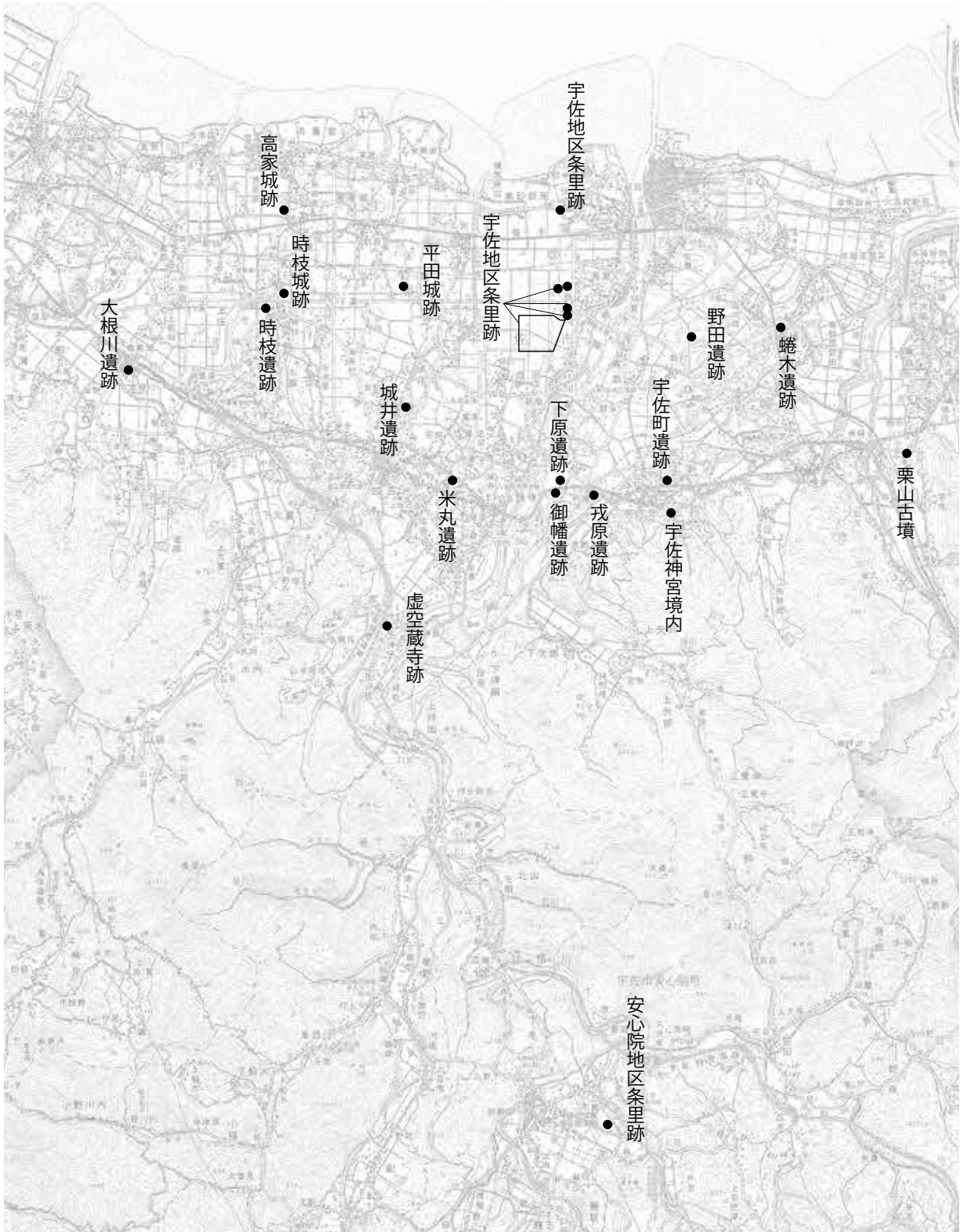
第 2 表 調査遺跡一覧

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
宇佐町遺跡	宇佐市南宇佐字北田 2138-7	44211	211334	33° 31' 42.4"	131° 22' 24.1"	20170417	268.66	個人住宅
時枝城跡	宇佐市下時枝字森田 100-30、31、32	44211	211034	33° 33' 19.5"	131° 18' 30.5"	20171031	425	個人住宅
栗山古墳	宇佐市山字向 373-1	44211	211205	33° 31' 59.0"	131° 24' 58.4"	20171113	685.43	個人住宅
平田城跡	宇佐市森山字西ノ門 1011	44211	211238	33° 33' 23.2"	131° 19' 42.8"	20170516	290.9	個人住宅
虚空蔵寺跡	宇佐市山本字百枝 1652	44211	211132	33° 30' 30.2"	131° 19' 35.8"	20170605 ～ 20170616	750	個人住宅
米丸遺跡	宇佐市辛島	44211	211245	33° 31' 44.9"	131° 20' 12.6"	20170510 ～ 20170511	80	水道
高家城跡	宇佐市東高家 139-1	44211	211011	33° 34' 05.8"	131° 18' 30.7"	20171219	704.13	その他建物 (老人ホーム)
御幡遺跡	宇佐市法鏡寺 843	44211	211135	33° 31' 39.7"	131° 21' 18.5"	20171007	543.17	個人住宅
時枝遺跡	宇佐市上時枝字東ノ土居 256、258-4	44211	211329	33° 33' 17.2"	131° 18' 20.2"	20171018	848.61	個人住宅
宇佐地区条里跡	宇佐市住江字松林 425-1	44211	211019	33° 34' 07.5"	131° 21' 20.5"	20171120	935.76	個人住宅
宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀字正門 4038-4	44211	211019	33° 33' 22.7"	131° 21' 27.8"	20171114	632.91	工場新築
安心院地区条里跡	宇佐市安心院町字芝原 681、679	44211	211286	33° 26' 11.0"	131° 21' 49.8"	20171214	5.9	電気(鉄塔)
下原遺跡	宇佐市法鏡寺字下原 833-1、833-2	44211	211210	33° 31' 42.2"	131° 21' 19.5"	20171025 ～ 20171108	2347	集合住宅
宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀字小宇佐 4010-1	44211	211019	33° 33' 10.8"	131° 21' 25.7"	20180227	614.96	個人住宅
城井遺跡	宇佐市城井字一本松 711、714、715- 1	44211	211046	33° 32' 23.6"	131° 19' 45.6"	20170824 ～ 20170908	2648	宅地造成

宇佐地区条里跡	宇佐市川部 904 ほか	44211	211019	33° 33' 01.1"他	131° 21' 03.5"他	20171219 ～ 20180118	305.03	圃場整備
野田遺跡	宇佐市金屋 1991-1、 1991-9	44211	211218	33° 33' 00.7"	131° 22' 43.5"	20170921	17116.91	工場新築
宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀字小宇佐 4008-5	44211	211019	33° 33' 15.2"	131° 21' 26.3"	20171225	264.41	個人住宅
宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀字小宇佐 4008-1、4008-7	44211	211019	33° 33' 14.5"	131° 21' 26.3"	20180226	422.8	個人住宅
大根川遺跡	宇佐市大根川 330 - 2	44211	211078	33° 32' 41.6"	131° 16' 54.2"	20180306	330.41	個人住宅
蜷木遺跡	宇佐市蜷木 1845 - 1	44211	211177	33° 33' 01.3"	131° 23' 37.4"	20180307	348.07	個人住宅
宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀北門 4096 - 3	44211	211019	33° 33' 24.3"	131° 21' 19.0"	20180215	505.04	個人住宅
戎原遺跡	宇佐市北宇佐 2164 - 2、 2165 - 1	44211	211346	33° 31' 41.0"	131° 21' 36.2"	20180226 ～ 20180302	252	電気（鉄塔）

第3表 調査内容一覧

所収遺跡名	担当者	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
宇佐町遺跡	甲斐安寿生	集落	中世、ほか	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
時枝城跡	甲斐安寿生	城跡	中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
栗山古墳	弘中正芳	墳墓	古墳	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
平田城跡	弘中正芳	城跡	城跡	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
虚空蔵寺跡	弘中正芳	寺院跡	奈良	土坑、溝、柱穴	土師器・瓦	発掘調査（個人住宅）
米丸遺跡	江藤和幸	集落	平安	遺構なし	遺物なし	工事立会（上下水道）
高家城跡	甲斐安寿生	城跡	中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
御幡遺跡	弘中正芳	墳墓	弥生	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
時枝遺跡	弘中正芳	包蔵地	中世ほか	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
宇佐地区条里跡	甲斐安寿生	条里	古代・中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
宇佐地区条里跡	弘中正芳	条里	古代・中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（工場増築）
安心院地区条里跡	甲斐安寿生	条里	中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
下原遺跡	弘中正芳	集落	弥生・古墳・中世	墓、不明土坑、柱穴	弥生土器、白磁、鉄刀、他	発掘調査（集合住宅）
宇佐地区条里跡	甲斐安寿生	条里	古代・中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
城井遺跡	甲斐安寿生	包蔵地	弥生・古墳	遺構なし	遺物なし	発掘調査（宅地造成）
宇佐地区条里跡	弘中正芳	条里	古代・中世	溝、爆弾跡	陶磁器	発掘調査（圃場整備）
野田遺跡	甲斐安寿生	集落・生産	古墳・古代・近世	遺構なし	遺物なし	発掘調査（工場新築）
宇佐地区条里跡	甲斐安寿生	条里	古代・中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
宇佐地区条里跡	甲斐安寿生	条里	古代・中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
大根川遺跡	甲斐安寿生	集落	弥生・中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
蜷木遺跡	甲斐安寿生	包蔵地ほか	弥生・古墳	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
宇佐地区条里跡	甲斐安寿生	条里	古代・中世	遺構なし	遺物なし	工事立会（個人住宅）
戎原遺跡	弘中正芳	集落・城館	弥生・中世	土坑	弥生土器	発掘調査（鉄塔新設）



第2図 調査地点位置図 (S=1/27,000：上が北)



## 2 今年度調査の概要

平成 29 年度に提出された文化財保護法 93 条に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内での届出は 92 件、94 条に基づく発掘通知は 12 件である。前述の対応内訳は、発掘調査 10 件、立会調査 22 件、慎重工事 72 件（第 1 表参照）である（数値はいずれも平成 30 年 3 月 23 日時点）。

今年度に本事業で対応した調査件数は、前年度の申請分を含んで、試掘・確認調査 6 件、立会調査 19 件である。以下調査を行った遺跡ごとの所見を示す。

宇佐町遺跡、時枝城跡、平田城跡は、個人住宅建設に伴う浄化槽設置工事の際に、立会調査を実施した。遺構・遺物は検出されず工事着工とした。

栗山古墳は、個人住宅建設に伴う浄化槽設置工事の際に、立会調査を実施した。遺構・遺物は検出されず工事着工とした。

虚空蔵寺跡は、個人住宅建設に伴う地盤改良工事の確認調査を行った。詳細は次章に記す。

米丸遺跡は、民間業者による下水道埋設工事の際に、立会調査を実施した。遺構・遺物は検出されず工事着工とした。

高家城跡は、老人ホーム建設に伴う浄化槽設置工事の際に、立会調査を実施した。遺構・遺物は検出されず工事着工とした。

御幡遺跡は、個人住宅建設に伴う浄化槽設置工事の際に、立会調査を実施した。遺構・遺物は検出されず工事着工とした。

時枝遺跡は、個人住宅建設に伴う浄化槽設置工事の際に、立会調査を実施した。現地表から 1m の深さで、幅 20~30cm ほどの不整形の黒色土の堆積を確認したが、掘り下げた結果、堆積は 10cm ほどであり、遺物は検出されなかったため、樹痕と判断した。他に遺構は検出されず工事着工とした。

安心院地区条里跡は、鉄塔新設工事の際に、立会調査を実施した。遺構・遺物は検出されず工事着工とした。

下原遺跡は、集合住宅建設に伴う地盤改良工事に際して確認調査を実施した。詳細については、次章に記す。

城井遺跡は、宅地造成に伴う下水道埋設工事に際して事前確認調査を実施した。詳細については、次章に記す。

野田遺跡は、工場新設に伴う基礎工事に際して確認調査を実施した。詳細については、次章に記す。

大根川遺跡、蜷木遺跡は、個人住宅建設に伴う浄化槽設置工事の際に、立会調査を実施した。遺構・遺物は検出されず工事着工とした。

戒原遺跡は、鉄塔新設に伴い確認調査を実施した。詳細については、次章に記す。

宇佐神宮境内の現状変更に伴う調査として、連結送水管工事の際に 1 件、放生池浚渫の際に 1 件の立会調査を実施した。立会調査の結果、遺構は確認されなかったが、放生池から多数の瓦片を、送水管周辺から数点の須恵器片等を検出した。いずれも近現代の開発の際の流れ込みと考えられる。

宇佐地区条里跡では、個人住宅 5 件、工場改築 1 件、圃場整備 1 件の計 7 件の調査を実施した。調査目的のうち個人住宅及び工場新設の 6 件については、住宅の地盤改良工事と浄化槽設置工事の際に、立会調査を実施したが、いずれの調査区でも遺構・遺物は検出されず工事着工とした。圃場整備に伴う確認調査についての詳細は次章に記す。

上記調査のほか、本事業対応ではないが、平成 29 年度に市教育委員会が対応した事例として、安心院地区条里跡（庁舎建設）、立出遺跡（西大堀都市公園）、法鏡寺廃寺跡（公園整備に向けての調査）、川部高森古墳群（公園遊具設置）、蛇畑遺跡（宇佐中学校プール改修）、計 5 箇所調査を実施した。



宇佐町遺跡（個人住宅）



時枝城跡（個人住宅）



平田城跡（個人住宅）



栗山古墳（個人住宅）



御幡遺跡（個人住宅）



時枝遺跡（個人住宅）



安心院地区条里跡（鉄塔建替）



大根川遺跡（個人住宅）



蜷木遺跡（個人住宅）



宇佐神宮境内（放生池浚渫）



宇佐神宮境内（連結送水管）



宇佐地区条里跡（個人住宅）



宇佐地区条里跡（個人住宅）



宇佐地区条里跡（個人住宅）



宇佐地区条里跡（個人住宅）



宇佐地区条里跡（個人住宅）

### 3 発掘調査の成果

#### 虚空蔵寺跡

##### 調査に至る経緯

虚空蔵寺跡は宇佐市大字山本に所在しており、駅館川左岸の河岸段丘上に位置する古代寺院跡である。既往の調査により、法隆寺式の伽藍配置を持つことが判明している。塔跡からは博仏等が出土しており、大分県の指定史跡になっている。

今回、講堂推定地の北側で計画された個人住宅建築に伴い、確認調査を実施した。

##### 調査の概要

建設敷地内に3箇所のトレンチを設置して調査を行った。

1 トレンチ（長さ27 m、幅3.2 m）では、表土下約75cmの高さで、柱穴数基と不定形土坑（SK2）等が検出された。

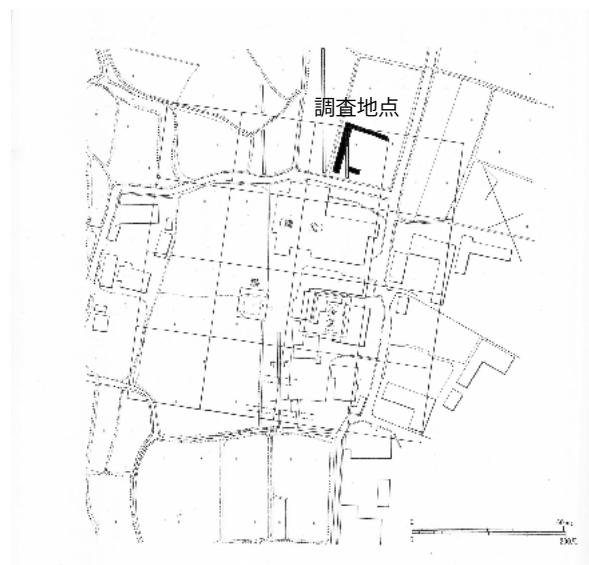
SK2は南北約6 m、東西約2.3 m、深さ約30cmの不定形土坑である。完掘はせず、トレンチによる土層の確認のみ行った。トレンチ内からは古代の須恵器の他、時期不明の瓦が数点出土した。

2 トレンチ（長さ19 m、幅1.4 m）では、表土下約80cmの高さで、ピット数基と溝（SD1）1条が検出された。

SD1は幅50cm、深さ約20cmであり、古墳時代から古代の土師器片、瓦等が出土した。出土遺物はいずれも器表が摩耗していることから、流れ込みによるものと考えられる。

3 トレンチ（長さ8.2 m、幅2 m）では、表土下約80cmの高さで精査を行った。遺構及び遺物は検出されなかったが、調査区西端で過去の調査区（1961年調査、IIトレンチ）の一部が確認された。

いずれの調査区でも、古代寺院に直結する遺構は確認されなかった。また、工事による掘削は遺構検出面に達しないことが確認されたため、埋土保存を行った後、工事着工とした。



第3図 虚空蔵寺跡調査区配置図（S=1/100）

#### 野田遺跡

##### 調査に至る経緯

野田遺跡は宇佐市大字金屋に所在しており、調査地点は寄藻川左岸の微高地上に位置している。工場増築に伴い、確認調査を実施した。

##### 調査の概要

工事対象地内で6箇所にトレンチを設定し、遺物・遺構の有無を確認した。

調査の結果、いずれの調査区でも現地表から1.9m付近まで工場造成時の盛土であり、遺構・遺物は確認されなかったため、工事着工とした。



虚空蔵寺跡 1TR 遺構検出状況 (東から)



虚空蔵寺跡 2TR 遺構検出状況 (西から)



虚空蔵寺跡 SK2 (北から)



虚空蔵寺跡 2TR 完掘状況 (西から)



虚空蔵寺跡 SK 2 遺物出土状況 (西から)



虚空蔵寺跡 SD 1 遺物出土状況 (南から)



野田遺跡 1TR 完掘状況



野田遺跡 6TR 完掘状況



## 城井遺跡

### 調査に至る経緯

城井遺跡は宇佐市大字城井に所在しており、駅館川西側に発達した四日市台地の低位段丘上に位置している。本調査地の周辺では、東側の市営住宅建設に伴う発掘調査の際に、弥生時代後期の竪穴住居跡3軒、奈良時代終わり～平安時代始め頃（8世紀末）の掘立柱建物跡7棟、時期不明の土坑5基等が発見されている。

今回は宅地造成に伴い、当該地の埋蔵文化財有無の確認のため確認調査を行った。



第4図 城井遺跡調査区配置図 (S=1/1250)

### 調査の概要

工事の掘削深が大きい下水道管理設位置に4箇所のトレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認した。

1 トレンチ（長さ約15 m×幅約1.5 m）では地表下20cmから30cmの深さで、ピットを数基、及び現代の溝を6条検出した。出土遺物は、須恵器、土師器、陶磁器の小片であり、いずれも流れ込みの可能性が高いため時期を判断できない。

2 トレンチ（長さ約20 m×幅約1.0 m）では、10数基のピットを検出したほか、トレンチ西側で南北に向かって走る幅1m、深さ約40cmの溝（SD5）を検出した。出土遺物は、いずれの遺構も須恵器、土師器、弥生土器等の小片であり、SD5についても古代の遺物と近現代の遺物の混在が見られることから時期は判断できない。

3, 4 トレンチ（長さ約50 m×幅約1.2 m）では、現地表から30cmの深さで、ピット多数、溝状遺構数条（SD14、他）等が検出された。

検出されたピットのうち両トレンチ南側の6基（SP45、89、90、91、92、93）は、直径50cmから80cm、深さ15cmから20cmで、南北約1.5m、東西約2mの同間隔で整然と並ぶことから、掘立柱建物跡（SB1）の可能性が考えられる。SB1を切る現代の溝（SD11）から、古墳時代後期から古代の須恵器片等が出土しているが、いずれもピットに直接伴うものではないため、当遺構の時期を判断するのは難しい。

溝状遺構SD14は3, 4トレンチ北側を東西に走るが、上端幅約1.2 m、底面幅約70cmの逆台形状で、深さ約30cmが残存している。SD14からは拳大の礫が数点出土したのみであり、時期については不明である。その他の溝については、古墳時代から古代の須恵器、現代の陶磁器片等が混在しており、現代の耕作土と思われる。

上記のとおり遺構が確認されており、今後当該地で行われる住宅の建設等に際して協議に必要な情報を得ることができた。



城井遺跡 完掘状況（上が西）



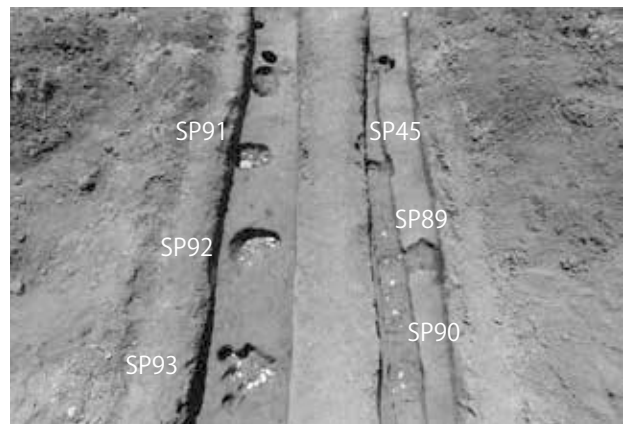
城井遺跡 1TR 完掘状況（東から）



城井遺跡 2TR 完掘状況（西から）



城井遺跡 3、4TR 完掘状況（南から）



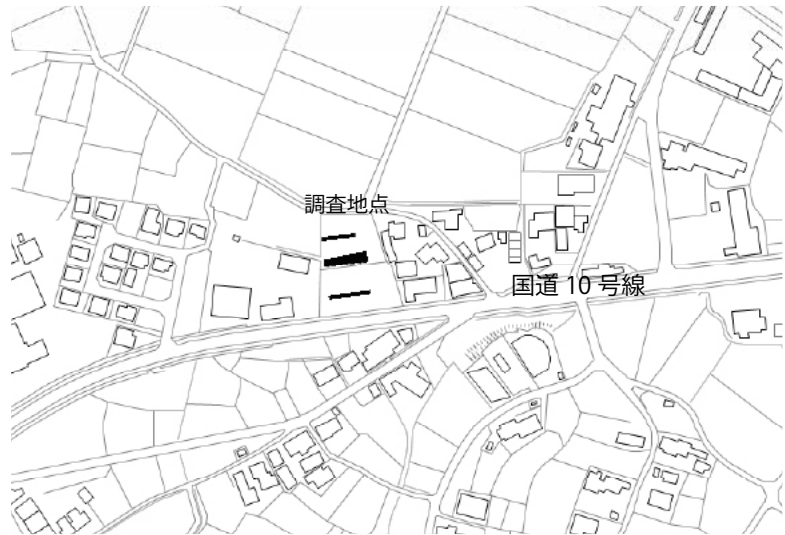
城井遺跡 SB1 完掘状況（北から）

## 下原遺跡

### 調査に至る経緯

下原遺跡は宇佐市大字法鏡寺に所在しており、宇佐平野を北流する駅館川右岸の微高地上に位置している。過去に、調査地西側の宅地開発に伴う調査において、弥生時代の甕棺墓等が確認されている。

今回は、集合住宅新築に伴い当該地の埋蔵文化財有無の確認のため、建屋位置の一部で確認調査を実施した。



第5図 下原遺跡調査区配置図(S=1/1250)

### 調査の概要

3本のトレンチを設定し、発掘調査を行った。いずれのトレンチでも、後世の削平を受けており、遺構は底面付近が残存するのみであった。

1トレンチ(長さ1.4m、幅23m)では現地表下約40cmの位置で遺構を検出した。10数基のピットを検出した他、トレンチ西側で12世紀の木棺墓(ST1)を検出した。

ST1は長軸約1.6m、短軸約90cm、深さ約20cmが残存していた。墓壙南東端から白磁碗2点が重ねられた状態で出土した。また、西側から中央部にかけて土師皿3点が並べられた状態で出土した他、東端からは鉄刀1点が出土した。なお、有機質の付着した鉄釘が数点出土しており、木棺の部材と考えられる。

2トレンチ(長さ22m、幅3m)では現地表下約30cmの位置で遺構を検出した。トレンチ中央から西側にかけて多数のピットを検出した他、中央部やや西よりで、弥生時代の墓(ST2)と土坑(SK5)等を検出した。

SP44は直径約35cmのピットであり、内部から縄文時代の甕底部が出土した。

SK5は長軸約1.4m、短軸1.2mの略方形で、深さ約15cmから25cmが残存していた。中からは拳大の礫や弥生時代中期初頭から中期前半の土器が150点近く出土している。出土した土器の大部分は甕の底部であり、意図的に底部を廃棄した土坑の可能性が高い。

ST2はSK5の北東約30mの位置にある。墓壙は長さ85m、幅約50mの楕円形を呈しており、深さ約15cmが残存していた。ST2からは安山岩の板石3枚が出土しており、石棺墓の底面付近の可能性はあるが、大部分が削平されているため、詳細は不明である。墓壙南端で弥生時代中期初頭から前半の甕(底部)が出土したが、SK5からの混入の可能性も考えられる。

上記の他に、ピット等から古墳時代の須恵器、土師器片等が出土している。

3トレンチ(長さ16.5m、幅1.3m)では現地表から約50cmの位置で遺構を検出した。数基の土坑とピットを検出したほか、東側と中央部で溝状遺構を各1条検出した。出土遺物は、弥生時代後期から終末期の壺の口縁部や、古墳時代後期から古代の土師器片などがあるが、小片であり遺構に伴うものが少ないため、時期の特定が困難である。

上記のとおり遺構が確認されたため、開発者と協議を行った。協議の結果、地下の遺構への影響が少ない工法に変更したため、工事着工とした。

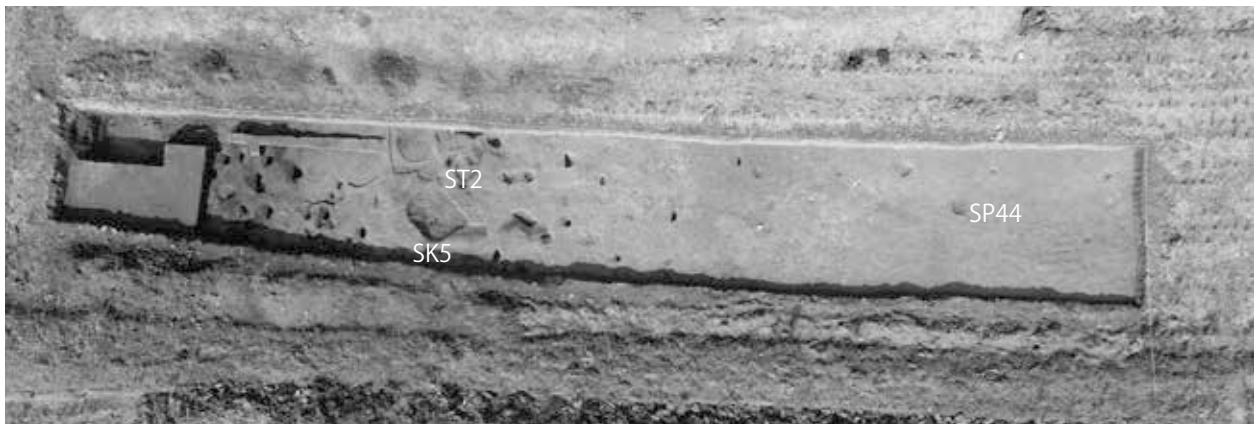




下原遺跡 調査区全景（上が西）



下原遺跡 1TR 完掘状況（上が北）



下原遺跡 2TR 完掘状況（上が北）



下原遺跡 3TR 完掘状況（上が北）



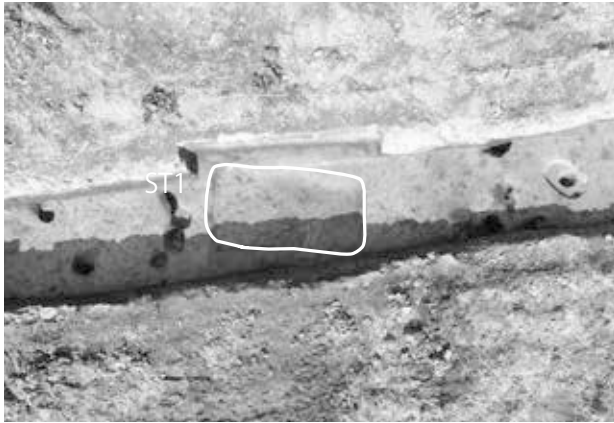
下原遺跡 ST1 遺物出土状況（北から）



下原遺跡 ST1 遺構検出状況（西から）



下原遺跡 ST1 遺物出土状況（西から）



下原遺跡 ST1 完掘状況（上が北）



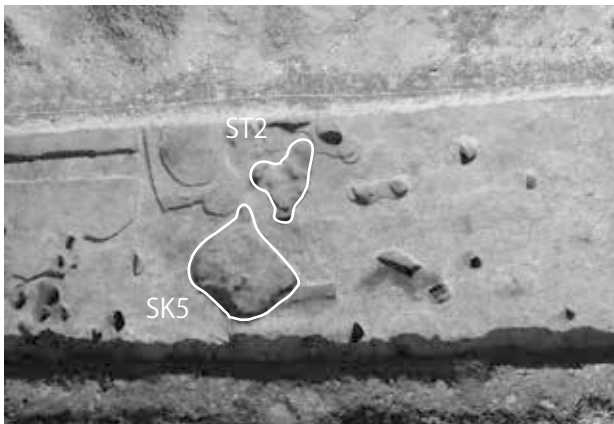
下原遺跡 ST2、SK5 遺構検出状況（南西から）



下原遺跡 ST2 遺構検出状況（南から）



下原遺跡 SK5 遺物出土状況（北から）



下原遺跡 ST2、SK5 完掘状況（上が北）



下原遺跡 SP44 遺物出土状況（北西から）



下原遺跡 2TR 完掘状況（東から）



下原遺跡 3TR 完掘状況（東から）

下原遺跡出土遺物



下原遺跡 ST1 出土白磁碗



下原遺跡 ST1 出土土師皿



下原遺跡 ST1 出土土師皿



下原遺跡 ST1 出土土師皿



下原遺跡 ST1 出土土師皿



下原遺跡 ST1 出土鉄刀



下原遺跡 ST1 出土釘



下原遺跡 SK5 出土弥生土器



下原遺跡 SK5 出土弥生土器



下原遺跡 SK5 出土弥生土器



下原遺跡 SK5 出土弥生土器



下原遺跡 SK5 出土弥生土器



下原遺跡 SK5 出土弥生土器



下原遺跡 SK5 出土弥生土器



## 宇佐地区条里跡

### 調査に至る経緯

宇佐地区条里跡は宇佐市大字川部及び江須賀に所在し、駅館川左岸に広がる宇佐平野の北部に位置している。古代から続く条里跡であり、近代には宇佐海軍航空隊の飛行場として造成が行われている。

平成 28 年度から同 30 年度にかけて大規模圃場整備が行われるため、昨年度から断続的に確認調査を実施している。平成 28 年度の調査では中世の土坑等が検出されており、今年度も工事の掘削が深い箇所を中心に確認調査を行った。

### 調査の概要

工事対象地内で 12 箇所のトレンチを設定し、調査を行った(第 6 図)。各調査区の規模等は第 4 表のとおりである。

1、6 トレンチでは遺構及び遺物は検出されなかった。

2～5 トレンチでは、遺構は検出されなかったが、調査区内から土器片や陶磁器片等が出土した。いずれも小片であり、流れ込みによる可能性が高い。

7 トレンチでは表土下約 60cm の位置で近代の水路と思われる溝と、旧飛行場に投下された爆弾痕と思われる川原石の集積が検出された。溝からは、土師器や須恵器の小片に加えて近現代の陶磁器等が出土した。

8 トレンチでは表土下約 60cm の位置で近代の水路と思われる溝を検出した。調査区内からは古墳時代から古代の土師器片や中世の瓦器片、近現代の陶磁器片が出土している。

9～11 トレンチでは表土下約 40cm の位置で近代の溝が検出された。いずれの調査区でも土師器片とともに近現代の陶磁器が出土している。

12 トレンチでは遺構は検出されなかったが、調査区内から古代の土師器片、チャート質の剥片、近現代の陶磁器等が出土した。

上記のとおり、検出された遺構はいずれも近代の物であり、また、工事による掘削は検出面まで及ばないことが確認できたため、本調査は不要と判断し工事着工とした。

なお、今年度の工区では宇佐海軍航空隊建設の際に設置された排水管や暗渠管が検出されたため、公共工事対応事業として本事業とは別に実測等の調査を行った。

第 4 表 宇佐地区条里跡 調査区一覧

調査区名	長さ×幅	遺構
1 トレンチ	20m × 1.5 m	
2 トレンチ	27m × 1.5m、他	
3 トレンチ	30m × 1.5m	
4 トレンチ	30m × 1.5m	
5 トレンチ	30m × 1.5m	
7 トレンチ	30m × 1.5m	溝、爆弾痕
8 トレンチ	30m × 1.5m	溝
9 トレンチ	7.5m × 1.5m	溝
10 トレンチ	7.5m × 1.5m	溝
11 トレンチ	7.5m × 1.5m	溝
12 トレンチ	30m × 1.5m	



第6図 宇佐地区条里跡 調査区配置図 (S=1/4500)

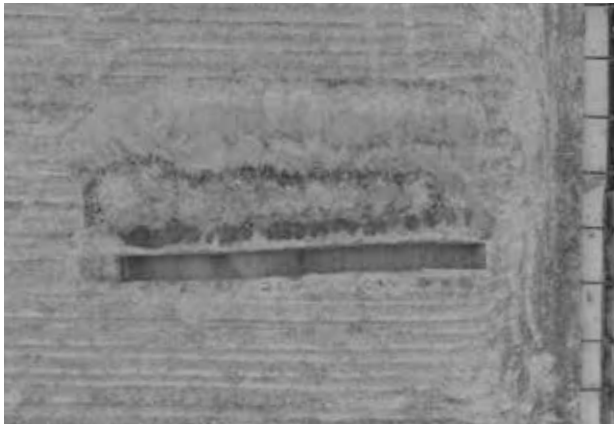


宇佐地区条里跡 調査対象地全景（北東から）



宇佐地区条里跡 調査対象地全景（西から）





宇佐地区条里跡 1TR 完掘状況 (上が北)



宇佐地区条里跡 1TR 完掘状況 (東から)



宇佐地区条里跡 2TR 完掘状況 (上が北)



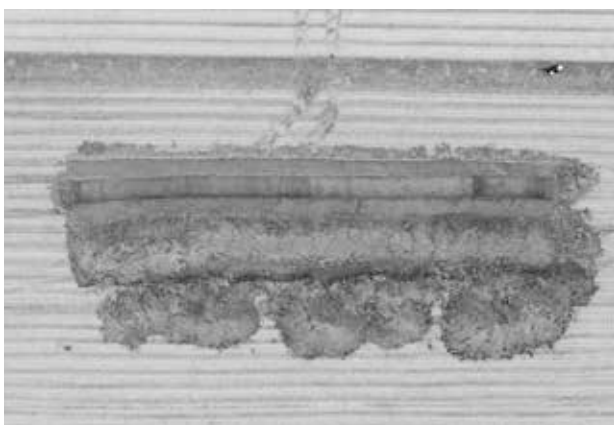
宇佐地区条里跡 2TR 完掘状況 (東から)



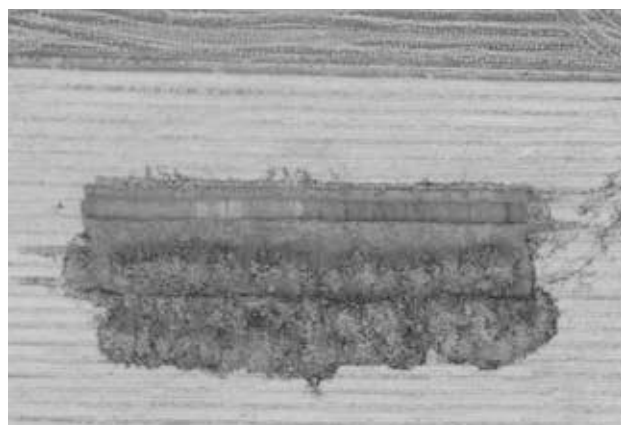
宇佐地区条里跡 3TR 完掘状況 (上が北)



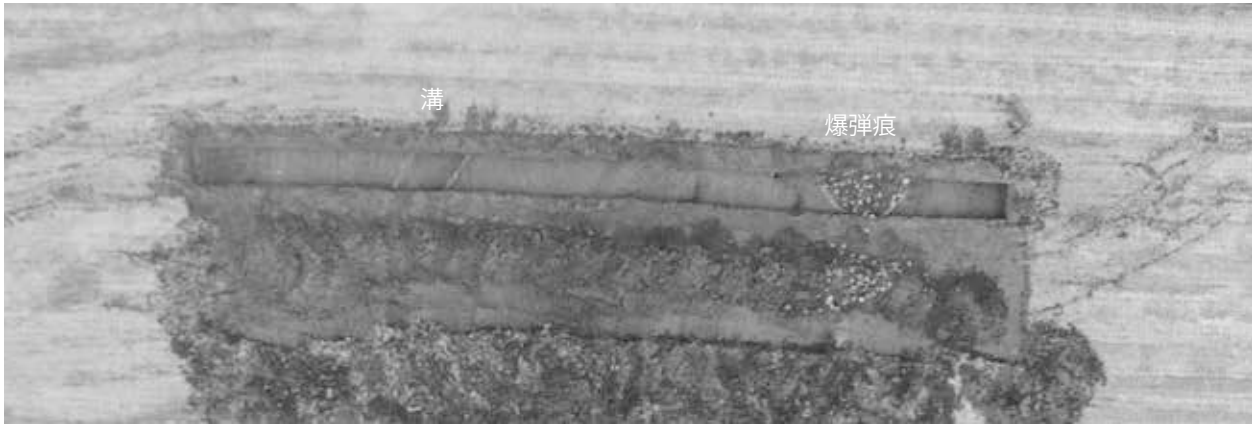
宇佐地区条里跡 4TR 完掘状況 (東から)



宇佐地区条里跡 5TR 完掘状況 (上が北)



宇佐地区条里跡 6TR 完掘状況 (上が北)



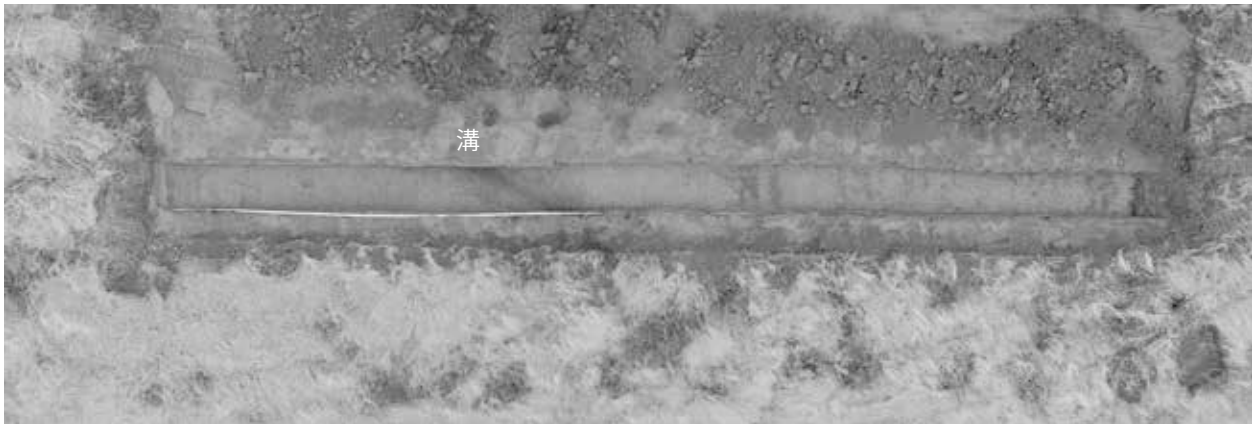
宇佐地区条里跡 7TR 遺構検出状況 (上が北)



宇佐地区条里跡 7TR 溝 検出状況



宇佐地区条里跡 7TR 爆弾痕 検出状況



宇佐地区条里跡 8TR 遺構検出状況 (上が北)



宇佐地区条里跡 9TR 完掘状況 (上が西)



宇佐地区条里跡 9TR 溝 検出状況 (東から)



宇佐地区条里跡 10TR 遺構検出状況（上が西）



宇佐地区条里跡 10TR 完掘状況（北から）



宇佐地区条里跡 11TR 遺構検出状況（上が西）



宇佐地区条里跡 11TR 遺物出土状況（北から）



宇佐地区条里跡 12TR 完掘状況（上が北東）



宇佐地区条里跡 宇佐海軍航空隊の排水管



宇佐地区条里跡 宇佐海軍航空隊の暗渠排水管

## 戎原遺跡

### 調査に至る経緯

戎原遺跡は宇佐市北宇佐に所在し、駅館川と寄藻川に挟まれた台地上に位置している。既往の調査では弥生時代前期の土器等が出土しており、北西側に隣接する御幡遺跡からは弥生時代から古墳時代にかけての墓等が発見されている。

九州電力株式会社が行う送電用鉄塔の建替工事に伴い、確認調査を実施した。

### 調査の概要

調査区は南北約 5.8 m、東西約 6m で設定した。現地表下 10～15cm の位置から、土坑 4 基 (SK 1～4) が検出された。検出遺構の時期等を確認するために当初は半裁して深さ等の確認を行う予定であったが、下記のとおりいずれの遺構も非常に浅く、出土遺物が少なく時期の判断等ができなかったため、完掘した。

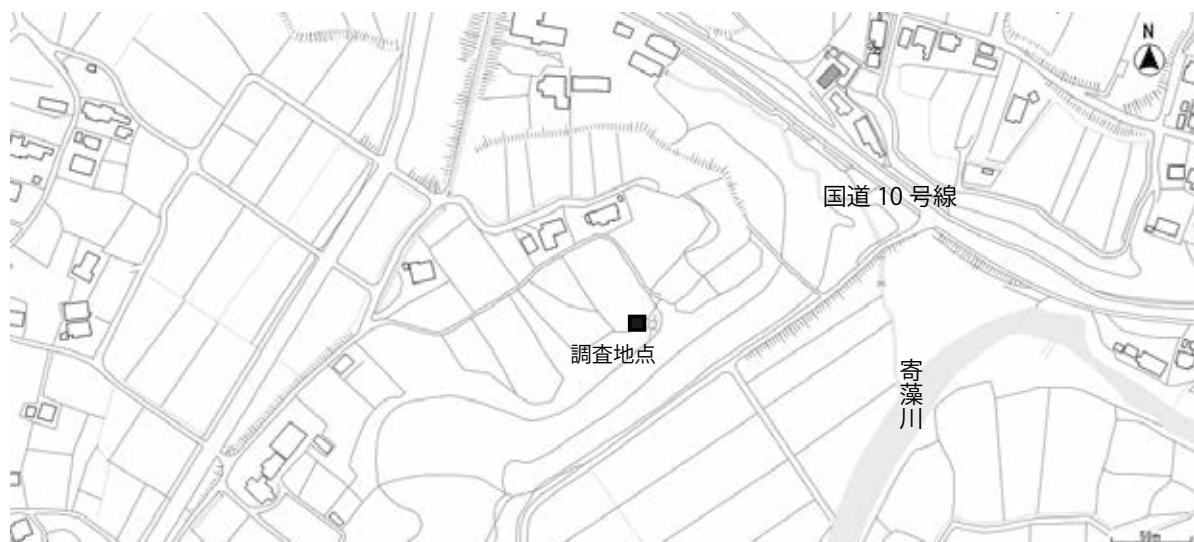
SK1 は直径約 1.5 m の円形で、深さ約 15cm が残存しており、東端に直径約 35cm のピットが掘られている。弥生土器の底部を含む土器片が数点出土した。

SK2 は直径約 1.3 m の円形で、深さ約 15cm が残存しており、中央部と南端に直径約 20cm のピットが掘られている。弥生土器の胴部片数点が出土した。

SK3 は直径約 1.5 m の円形で、深さ約 15cm が残存しており、北端に直径約 40cm のピットが掘られている。弥生土器の胴部片数点の他、青磁片 1 点が出土した。

SK1、2、3 は弥生時代の貯蔵穴の可能性もあるが、大部分が削平されているため詳細は不明である。

SK4 は東西約 1.3 m、南北 0.9 m の不定形で、深さ約 20cm が残存している。埋土は橙色の粘質土としまりの悪い黒色土が混じっており、土坑の周辺では被熱痕跡と思われる土壌の赤変等が確認された。遺物は出土しておらず、遺構の時期等は不明である。



第 7 図 戎原遺跡調査区配置図 (S=1/1250)

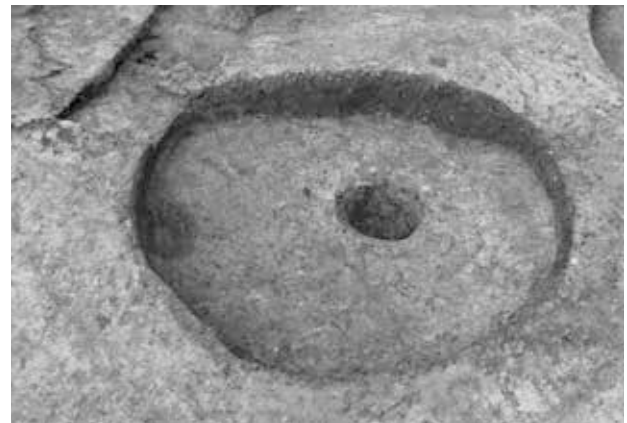




戎原遺跡 遺構検出状況（南東から）



戎原遺跡 SK1 完掘状況（東から）



戎原遺跡 SK2 完掘状況（東から）



戎原遺跡 SK3 完掘状況（東から）



戎原遺跡 SK4 完掘状況（北西から）

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	しないいせきはつくつちょうさがいほう 26
書 名	市内遺跡発掘調査概報 26
副書名	平成 29 年度調査の概要
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	甲斐安寿生、弘中正芳
編著機関	宇佐市教育委員会
所在地	〒 879-0492 大分県宇佐市大字上田 1030 番地の 1 TEL 0978 - 32-1111
発行年月日	西暦 2018 年 3 月 29 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コ ー ド		北 緯	東 経	発掘期間	発掘 面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
第 2・3 表に同じ								

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
第 2・3 表に同じ					

要 約	平成 29 年度に実施した 6 遺跡の確認調査、13 遺跡の立会調査の概要報告書である。
-----	--

平成30年3月14日 印刷

平成30年3月29日 発行

## 市内遺跡発掘調査概報 26

平成29年度調査の概要

著作権所有 大分県宇佐市大字上田 1030 番地の 1  
発行者 宇佐市教育委員会

印刷者 佐藤印刷  
大分県宇佐市安心院町下毛 1833-1  
TEL (0978) 44-0121

